一般社団法人ＫＩＸ泉州ツーリズムビューロー
令和３年度事業計画

1　令和３年度事業の基本方針

令和３年３月 31 日に当法人は観光庁より観光地域づくり法人（旧日本版ＤＭＯ法人）への正式登録の承認を得ることができました。これにより泉州地域の観光戦略の司令塔として、地域自治体はもちろんの事、地域の民間事業者、商工会議所・商工会等とともに、観光地域づくりを行うための合意形成をビューローが主体的にさらに進め、観光地としての受け入れ整備並びに広域一丸となった観光プロモーションを実施いたします。

具体的には、昨年 10 月に設立した「泉州観光地域づくり連携協議会」を梃子（テコ）に、泉州地域の事業者による自立的な観光まちづくりを推進していきます。あわせて、令和 2 年度に造成した着地型体験旅行商品等の効果的なセールス、関西観光本部等と連携して泉州のスペシャリスト通訳案内士の養成等の取組みを進めていくとともに、KPI の検証などデータに基づく戦略的な事業展開に取り組みます。

また、泉州には、海や山など豊かな自然に恵まれていることから、隣接する和歌山との連携を意識したサイクリング事業等を実施するとともに、海の幸、山の幸、里の幸といった豊富な泉州の食をテーマとしたご当地グルメイベント・アウトドアイベントの実施など泉州の強みを生かした事業展開にも注力していきます。

新型コロナウイルス感染症が終息するまでの期間は、オンライン FAM トリップやライブコマースなどの最新の ITC 技術を活用した「新しい旅のスタイル」を確立させる準備を行います。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、伝統ある「ＫＩＸ泉州国際マラソン大会」の公認競技大会を中止し、オンラインマラソンとして実施するなど、事業の変更を余儀なくされました。来たる第 29 回大会では、新型コロナウイルス感染症対策に十分配慮し、安全安心な大会に向けて運営体制を見直します。また、今後将来のマラソン大会のあり方についての検討を進めます。

各団体における非常に厳しい財政状況を鑑み、ビューロー事業においても、理事会等でのご意見等を踏まえ、事業の費用対効果を精査します。また、新型コロナウイルス感染症の状況を意識しつつ、来るべき国内外の観光需要の回復に備え受入環境整備に注力するなど泉州地域の更なる活性化に向け、効果的かつ効率的な事業を推進します。

2　各事業における新規・重点取組事項

戦略Ⅰ　「何度もこの地にきたい」と思わせる多様な観光資源の整備
戦略Ⅱ　特別感のある旅行商品での誘客とSNSを通じた情報提供
戦略Ⅲ　自主財源の確保と地域への利益還元を行う持続可能な体制の構築

(1) プロモーション事業　6,900 千円

- 泉州の強み「食」「アクティビティ」「産業観光」の魅力発信
  - 国際商談会での体験旅行商品活用
  - 産業観光オンライン体験ツアー
  - 食やアクティビティ、サイクル等アウトドアイベント実施
  - 旅行博等の活用

(2) 情報発信事業　15,869 千円

- ホームページ・フェイスブックの多言語強化等
  - 外国人向けホームページ・フェイスブック運用
  - ホームページ運用管理
  - Google MAP 活用促進
  - 大阪泉州まるわかり屋の見直し～食・伝統産業の販路拡大に資する店舗へ

(3) 受入環境整備事業　17,409 千円

- ソフト・ハード両面での自転車周遊含む環境の整備促進等
  - 泉州観光地域づくり連携協議会運営
  - 地域住民意識啓発活動
  - KPI データ取得・分析
  - サイクルツーリズム連携
  - サイクルアプリ「泉州くるナビ」活用
  - 観光組織研修
  - 観光資源データベース化

(4) 商品企画・開発事業　3,467 千円

- 「泉州の食」のブランド化、体験型商品の開発
  - 泉州スペシャリスト通訳案内士・泉州ガイドツアー育成支援
  - 食関連または泉州友好都市サミット

(5) マラソン事業　160,850 千円

- 第 29 回マラソンの運営と持続可能なマラソンに向けての課題の検討
  - with コロナ、after コロナに対応したマラソンイベントの見直しと運営体制づくり
  - 第 29 回大会実施に向けた基幹となる要項と収支全体の見直し
  - 将来に向けたマラソンあり方検討部会の運営